

2017年7月20日

労働金庫連合会

## PR I（責任投資原則）への署名により SR I（社会的責任投資）の取組みを強化します

労働金庫連合会（理事長：中江公人、以下、「労金連」という。）は、本日の理事会において、〈ろうきん〉業態を代表して、国連が提唱する責任投資原則（Principles for Responsible Investment、以下、「PR I」という。）に署名することを決定しました。

労金連は、「ろうきんの理念」にある「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与すること」を実現するため、「経営方針」において、「社会的責任（CSR）を重視した経営」を掲げています。

このような経営方針の実践のためには、投融資行動においても社会性に十分配慮することが必要であるとの考えの下、労金連では2010年に「労金連のSR I（社会的責任投資）原則」を制定しました。

また、日本労働組合総連合会（連合）がワーカーズキャピタル<sup>（注1）</sup>責任投資の普及と実践に向けて展開している取組みに賛同し、2012年には「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則（21世紀金融行動原則）」に署名し、SR I（社会的責任投資）の取組みとしてESG投資<sup>（注2）</sup>を実践しています。

PR Iへの署名により、SR I（社会的責任投資）を通じた取組みを一段と進め、福祉金融機関として、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与していきます。

（注1）ワーカーズキャピタル（労働者資本）

年金基金や労働組合の自己資金など労働者が拠出した、ないしは労働者のために拠出された資金。

（注2）ESG投資

E：Environment 環境、S：Social 社会、G：Governance ガバナンス に配慮した責任投資。労金連では、環境への取組み、コンプライアンス（法令遵守）、従業員への配慮、地域社会への貢献といった、企業の社会的責任（CSR）への取組み評価により選定された金融商品への投資を行っています。

### ◆ 本件に関するお問い合わせ先

労働金庫連合会 総合企画部 担当：大谷・橋詰（TEL 03-3295-9332）

労働金庫連合会は、働く人のための福祉金融機関〈ろうきん〉の系統中央金融機関です。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-5-15 <http://www.rokinren.com/>